

第15号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 072 - 953 - 3881 FAX 072 - 953 - 3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583 - 0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

子どもが大切にされる年に

園長 瀬川 佳成

新年あけましておめでとうございませう。

昨年、高鷲学園のために温かい励ましやご支援をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、子どもたちは元気です。こやかに新たな年を迎えることができました。

さて、学園には現在102人の子どもたちが暮らしています。幼児15人、小学生46人、中学生25人、高校生等17人です。甘えたくてよく泣く子、寒い外で元気に遊ぶ子、宿題をこまかして怒られる子、小さい子を思いやつてくれる子、クラブに汗を流す子、クラブに行けない子、イライラが押さえられず、つい暴力に走ってしまう子もいます。

みんな、かけがえのない存在として生まれ育って、施設に来て、その子なりに子ども時代を精一杯生きています。私たち職員は、その一人ひとりを大切に思い、成長を喜び合って養育していきたいと思っています。

ところで、いま児童養護施設

等をめぐる、戦後初めてと言われる大きな動きが起こりつつあります。虐待などによって施設に保護される子どもが増える中で、施設養護のあり方を見直すというものです。そのキーワードは「家庭的な養護の推進」

です。内容としては、施設を小規模化すること、6人程度の小さな施設(家)を地域につくること、里親による養育を増やすこと等が示されています。それに伴い、消費増税の財源で職員を増やす計画も出されました。やつと施設の子らに光が当たってきたと言われています。

高鷲学園は60数年大舎の施設でやってきましたが、今後は何年かかけて施設の形を変えていくこととなります。これまで積み重ねてきた実践の上に立って、本当に子どもたちが大切に養育される環境作りに取り組んでいきたいと考えています。

日々苦労する事も多いですが、子どもに寄り添い成長を信じて今年も職員一同がんばっていきたいと思います。

皆さま方にとって、幸多い年になることを祈っております。

今年の抱負

もっと高い竹馬にのる!

(年長 女子)

さかあがりがんばる!

(年中 男子)

好き嫌いをなくしてなんでもたべれるようになりたいです。

(小5 女子)

算数をがんばりたいです。

(小4 女子)

低学年を引っ張れる立派な6年生になりたいです。

(小5 男子)

中3になるのが楽しみ。勉強もクラブも全部がんばりたい。

(中2 女子)

毎日早起きして高校にがんばって行く。

(中3 女子)

就職先の職場で早く仕事になれてがんばる。(高3 男子)

(高2 女子)



イベントの特集

お世話になっている 方々の声

高鷲学園では年間を通して、ポランテアや地域の多くの方々から子どもたちの日々の生活に関わり、子どもたちの成長を支えてくれています。

今回は、日頃お世話になって
いる方々の中か
ら5名の方を紹
介したいと思います。



もみのきさん

「子どもたちに手作りのクリスマスプレゼントを届けたい」の思いからこの名を付けました。今活動しているのは、高鷲学園の近くに住む女性6人です。手作りにこだわって、春の入園・入学用の袋類も製作しています。

活動のきっかけはわが子が幼稚園で学園の子どもたちと友達になって家に遊びに来るようになってからです。それから40年近く、メンバーの入れ替わりはありましたが、ずっと続けて来れた事、今振り返るとほんとに不思議です。

プレゼントの季節が近づくと、布を買いに出かけみんなが集まってあれこれ相談し、各自仕事を持ち帰って仕上げ、学園に届けます。みんな忙しい仕事の合間に時間をやりくりして活動していますが、可愛い布製品をあれこれ工夫しながら仕上げていくのは、私たちにとって、この上なく楽しく幸せなひと時です。

これからも、このような活動の場を与えられていることに感謝して、できるだけ長く続けていきたいと思っています。

(もみのきグループ代表

松本 恭子)



学習支援員さん

学習支援員としての私の高鷲学園との関わりは39年前に学園の中学生を担任してから始まっています。今も付き合いが続いているその関連から支援員の話が来たのだと思います。しかし、小学生を教える経験は全くないので、小学校教員のいとこにひきざんや文字をどう教えるのかを教えてもらいました。

でも、子どもたちは理屈は構わず「学校で勉強終わったのになんで？」とばかりの「素」の態度をぶつけてきます。先生と生徒ではなく人間同士として向き合えるの

か、信頼できる大人なのかを見られているんだと次第に分かりました。私は今も「べんきょうを教えること」には自信はありませんが、そのうちに学園の指導員の先生に支援学習の有り様の報告を求められるようになりました。私は学習の進み具合や子どもたちの様子・色紙や絵の作品を残すようにしています。いつの日か子どもたちが過去の自分を見つめ直すようになれば、という思いからそうしているのです。

(安達 志朗)



私は去年から3階の子どもたちと一緒に勉強していますが、最初がうまく勉強に集中できずに時間が過ぎてしまう事が多々ありました。一度勉強から離れ、様々なことを話し合っ、この子がどんな事を考え何が好きで何が嫌いな

かを理解できるように努めました。すると、ある日、今までうまく集中できなかった男の子から、「ドリルやるから出して」と言われました。それからもやはり気分が乗らない時はありましたが、それでも目に見えて子どもから「勉強しよう」という声が増えました。

2年目に入った現在ではみんな自分のペースで勉強に取り組み、中には「医者になりたいから勉強がんばんねん」と張り切っている子もいます。ここでの勉強が子どもたちの将来に少しでも役立てたらいいなと思いい、子どもたちとこれから楽しみながら頑張っていきたいと思えます。(上平 琢人)

藤井寺市民音楽団さん

私たち市民音楽団は一九六九年に結成しました。結成にあたり、なにか目標を持つとうという事で話し合い、音楽で地域社会に役立てる事をしよう決めました。現在では定期演奏会、街角の公園で行う、たそがれコンサート、クリスマス、の慰問演奏、幼稚園、小学校



への音楽教室、などなど行っています。

さて、高鷲学園との交流ですが、一九七〇年代子どもさんが生活されている施設への訪問を計画しました。確か、この学園と一緒にいる前の若楠学園、太子学園、羽曳野荘、そして高鷲学園と四つの学園を訪ねて許可を頂きました。それぞれの学園には個々に微妙な違いがありました。それは建物の問題とかも含めて運営は大変だろうなということでした。

でも学園の児童、生徒の皆さんはそんなには変わりません。はにかみやさんがいたり、おどけもの

がいたり、楽器について質問魔がいたり、演奏が始まるとすぐに踊りだす人がいたり、終わったらすぐにくらみつきに来たりと年に1回の私たちの演奏を楽しんでくださいます。皆さんが楽しんで頂ける演奏をこれからも頑張つて練習してきます。(谷村 效央)

お話ボランティアさん

高鷲学園でのお話会はたぶん十年近くなるかもしれませんが。部屋いっぱい子どもたちの元気な声ときらきらした瞳が私たちのお話にぐいぐいと入り込んでくれます。

自分の発見や思い、リクエストを素直に言ってくれるので私たちにとっては大きなやりがいと喜びでした。そんな思いにこたえようと大型紙芝居や手遊びなど取り入れて子どもたちと一緒に楽しんできました。今ではことばだけの素話もひとりひとりがイメージを膨らませ聞き入ってくれています。そして、小学生のお話し会も始まりました。人数が少ない時もありましたが、こどもたちは、素話、



紙芝居、最後のクイズにいたるまで、自分なりに楽しんでくれます。特に紙芝居が大好きで、「紙芝居のおばちゃん」と呼んで、毎回入口で待っていてくれます。

高鷲学園は地域に開かれた場でもあり、高鷲こどもまつりにも「お茶会」として参加させていただき、ダイナミックな地域のエネルギーを一緒に感じています。これからも満面の子どもたちの笑顔に答え、喜んでもらえるように一緒に楽しんでいきたいと思えます。(お話ボランティアはびきの 下城かよ子)

寄付金・寄贈をいただいた方

(2012年9月21日～2012年12月27日)

ご支援に心から感謝します。

(敬称略)

寄付金

道明寺天満宮 匿名者(藤井寺市)
歳末助け合い運動配分金(羽曳野市社協)
T・M(大阪市) N・M(大阪市)
H・J(羽曳野市)

寄贈

(株)システム21(菓子) 羽曳野市更生保護女性
会・三田村商事(株)(ランドセル) 匿名者(米)
多田製菓(ベビーカーステラ) 大阪本場青果卸
売組合(みかん) 大阪レッグニット(靴下)
(株)アジアパンコスメジャパン(シャンブー等)
日本出版クラブ(本) 浅田悦子(みかん)
(株)サンフレイバー(ケーキ) 尼丁正寄(野菜類)
日本鏡餅組合(鏡餅) (株)チユチュアンナ(靴下)
国際ソロプチミスト大阪 みささぎ(菓子)
水明堂(じゃんぼどら) 浅田満(ケーキ)
松原青年会議所有志の会(菓子) 羽曳野市長
サンタ(菓子) ワールドメイト(玩具セット)
イントウコーポレーション(キャラクター商品)
招待等
松原青年会議所有志の会(みかん狩りBBQ)
ガンバ大阪(サッカー観戦) 大阪府遊技業
組合連合会青年部会(未来っ子カーニバル)
天理教明二分教会(清掃奉仕)

調理ブロック



当園では、
昼食会という
特別メニュー
の日がありま
す。

今回は、肉
まん・ラーメ
ン・中華サラ
ダ・胡麻だん
ごなどの中華
メニューにな
りました。

冬の食べも
この定番といえ、ふわふわあつあつに蒸しあ
げられた肉まんの声があがり、子どもたちが大
好きな味という事で一風変わったカレーまんを
挑戦する事になりました。試行錯誤しながら生
地を作り、551の肉まんのように具を包み蒸
しあげると2倍に大きく膨らみ、調理場に歓喜
の声が上がりました。出来あがった料理は、と
ても好評でした。
これからも、子どもたちに愛情たっぷり料
理を食べてもらいたいです。

(調理ブロック 皆川 恵子)

第1回 後援会のつどい 開催しました

初めての後援会の
つどいに参加しました。
あいにく、当日は雨で
みかん狩りから海遊館
に変更になりました。
子どもたちはとても
喜んでおり、私たちも
忙しい日々を忘れ、ゆっ
くりとした時間を過ご
すことができました。
今後集いを開催する
事で後援会の輪が広がっ
ていけばと思います。
入会もよろしく願います。



(2階ブロック 田中 大司)

ほっとほ ひとこと

羽曳野市民マラソン大会
に小学生12名が出席しまし
た。前日からの雪でコンディ
ションはとても悪く、そして当日も雪の舞う中、
泥のしごきをものともせず、全員完走しました。
帰りはみんな泥だらけでしたが、とても良い顔
をしていました。(3階ブロック 北見 可奈)